

130人が靖国神社に参拝

みんなで参拝国会議員の会

終戦の日

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)は令和初となる八月十五日午前十一時、水落敏栄本会会長、佐藤正久・外務、城内実・環境、両副大臣ら百三十人(代理含む)の衆参国会議員が靖国神社に揃って昇殿参拝した。なお、今年も関係の参拝はなかった。



昇殿参拝に向かう「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」=8月15日、靖国神社で

終戦から七十四年、令和になって初めての「終戦記念日」の八月十五日は、昨年と同様に朝早くから九段坂界隈は靖国神社や千鳥ヶ淵墓苑に参る人、全国戦没者追悼式への参列者などで終日賑わった。特に靖国神社境

内では、社頭に向かう参拝者の中に、若い家族連れや若者の参拝者が目につき、靖国神社への関心の高さが窺えた。

午前十一時、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」に所属する会員らは、尾辻会長を先頭に、本殿に進み、衆参

和の新しい時代を迎え、改めてわが国の平和と繁栄が、祖国のために命を捧げた英霊のおかげであるとの感謝と敬意を表するとの言葉を預かったと記者団に明らかにした。

玉串料に「安倍晋三」と個人名が書かれていたと説明した。これとは別に、自民党

の新しい時代を迎え、改めてわが国の平和と繁栄が、祖国のために命を捧げた英霊のおかげであるとの感謝と敬意を表するとの言葉を預かったと記者団に明らかにした。

玉串料に「安倍晋三」と個人名が書かれていたと説明した。これとは別に、自民党

の新しい時代を迎え、改めてわが国の平和と繁栄が、祖国のために命を捧げた英霊のおかげであるとの感謝と敬意を表するとの言葉を預かったと記者団に明らかにした。

玉串料に「安倍晋三」と個人名が書かれていたと説明した。これとは別に、自民党

みんなで参拝 衆・参国会議員

令和元年八月十五日、「みんなが靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百三十人(代理人含む)の衆・参議員は次のとおり。

- ▼衆議院 (党派別、敬称略) 議員本人参拝 高島修一、田畑裕明、田

【自民党】秋本真利、石川昭政、石原宏高、衛藤征士郎、大串正樹、大西英男、奥野信亮、小倉将信、梶山弘志、加藤寛治、城内実、岸信夫、櫻田義孝、左藤章、杉田水脈、高市早苗、高木啓

村憲久、とかしきなおみ、長尾敬、長坂康正、中谷元、野中厚、平沢勝栄、古屋圭司、堀内詔子、三ツ林裕巳、築和生、山口俊一、山本有一

江、尾辻秀久、佐藤正久、豊田俊郎、長峯誠、野村哲郎、羽生田俊、松村祥史、松山政司、三木亨、水落敏栄、山谷えり子

【日本維新の会】東徹、鈴木宗男

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

樺太・千島慰霊碑 水落会長が現地を視察

日本遺族会が厚生労働省から委託を受け、日本政府がロシア連邦サハリン州スミルヌイフ地区ポベジノに建立した「樺太・千島戦没者慰霊碑」の維持管理状況を調査するた

一行は八月二十日、成田空港からユジノサハリンスクに到着。翌二十一日、小西克己在ユジノサハリンスク日本総領事館副領事の同行を得て慰霊碑調査に向かった。

二十一日、慰霊碑の維持管理を担うスミルヌイフ市役所を表彰、ペロババ市長らと慰霊碑維持管

理について意見交換した。その後、ポベジノ村にある慰霊碑に向かい調査を実施。毎年積雪の影響を受け慰霊碑の床面が傷んでいたが、今年は事前

にペンキが塗られ、概ね良好と判断した。午後にはペロババ市長らに調査結果を報告し、今後の慰霊

碑の維持管理を要請した。ユジノサハリンスクに戻った調査団は二十三日午後、サハリン州政府文化局を訪ね、平野隆一在ユジノサハリンスク日本総領事同席のもと、二

回夜には、樺太・千島戦没者慰霊碑を建設する

【無所属】重徳和彦

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井



ペロババ市長らと会談する水落敏栄会長(左2人目) = 8月22日、スミルヌイフ市庁舎で

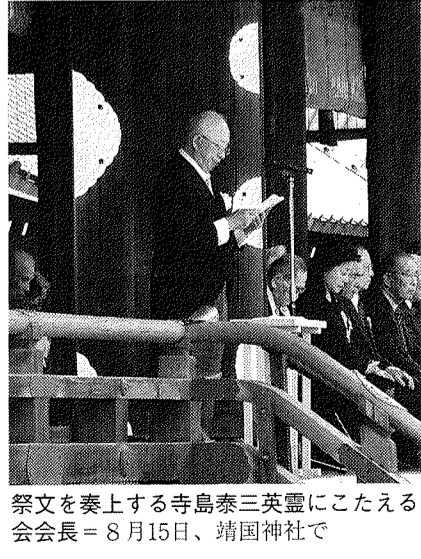
【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

本会の諸会議

本会で9月4日以降、開催した各種会議は次の通り。

▼常務理事会 9月4日 ①英霊顕彰・処遇改善運動の経過並びに今後の運動方法について。

▼第4回「今後の遺族会を考える特別委員会」 9月4日 今後の財政、組織、処遇のあり方について。



祭文を奏上する寺島泰三英霊にこたえる 祭文を奏上する寺島泰三英霊にこたえる 祭文を奏上する寺島泰三英霊にこたえる

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島潔、太田房

【自民党】青山周平、赤澤亮正、秋元司、甘利明、石破茂、井上信治

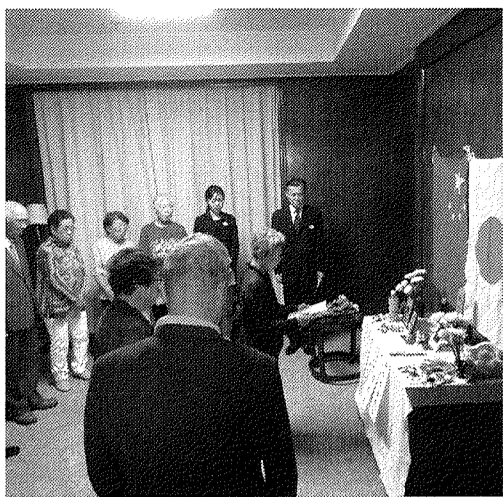
【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

【自民党】青木一彦、石井正弘、衛藤晟一、河井

好業 友事 慰親 霊善 慰親 旧満州、旧ソ連を実施 亡き父の戦没地等巡る

日本遺族会主催の令和元年度「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」が始まった。八月二日に旧満州、同二十日から旧ソ連がそれぞれ旅立った。同事業は、各戦域を訪れ亡き父等の戦没地を巡り慰霊追悼を行うとともに、植林活動や病院等を訪問し、現地の方々との友好親善を深めていくことを目的としている。

旧満州
日中友好訪問団・東北地区(総括団長・國政隆昭本会常務理事、全国の遺児代表十七人)は八月一日、東京・靖国神社内の靖国会館に集合し結団式を行い、翌一日、羽田空港を出発し北京に向かった。



積年の想いを亡き父に語りかける団員 = 8月5日、ウランホトで

到着後、二班に分かれA班はハイラル、アロンキ、ウランホト、瀋陽(旧奉天)方面へ、B班は、悪天候により当日の飛行機がキャンセルとなり北京に一泊し、翌日から黒河、牡丹江、延吉等、広大な地域をバスや航空機を利用して訪れ、亡き父の緑の地を訪れ、それぞれ選定した。

また、慰霊祭はホテルの一室で行い、故郷から持参した思い出の品々や家族の写真を飾り、亡き父へ涙ながらに語りかけるとともに、同地域で散華された多くの英霊の冥福を祈った。社会奉仕としてA・B両班は、瀋陽市郊外の青年苗圃にて植林活動をし、訪問団の一人が東京の靖国会館で結団式を行い、翌二十日シベリア抑留で亡くなった父の慰霊のため、ロシア



身障者施設を訪問し、車椅子を寄贈 = 8月25日、ピロビジャンで

池中征司本会監事を総括団長とする旧ソ連慰霊友好親善訪問団は八月十九日、全国の遺児代表十人からなる靖国会館で結団式を行い、翌二十日シベリア抑留で亡くなった父の慰霊のため、ロシア

アのハバロフスクを経由し、それぞれ緑の地へ向かい第一歩を印した。A班は、ハバロフスク市南方のビギン、コムソモリスクと同地から車で三時間の陸路途絶の地グルスコエ村、アムール州境近くのクリドールの埋葬地跡でそれぞれ慰霊祭を行い、亡き父への思いを語りかけるとともに、懇ろに霊を弔った。

B班は、チタ州の第二十四収容所ノヴァヤ駅埋葬地跡、同収容所カリムスカヤ病院跡、イルクーツク、リストビアンカで

旧ソ連から19柱奉還

遺骨の現地調査も実施

日本戦没者遺骨収集推進協会では旧ソ連地域、硫黄島(第一回)遺骨収集、硫黄島掘削立会、マリアナ諸島現地調査を相次いで実施し、本会はそれぞれの派遣に参加協力した。

骨収集ハバロフスク地方第一次派遣は、七月二十二日から八月六日の期間で、またイルクーツク州、ザバイカル地方の派遣を七月二十三日から八月六日の期間実施した。ハバロフスク地方では、三年連続となるソールネチヌイ地区の第四九二三野戦病院・ゴリン居住地区墓地及び第五収容所第四九二三野戦病院墓地で収集作業を行い、十一柱の遺骨を収容した。



各派遣団から厚生労働省へ遺骨が引き渡される = 8月7日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

硫黄島の掘削立会では、七月十五日から九月二日までの間四回に渡り派遣が行われ、庁舎区域の掘削調査に立会した。

亡き父の冥福を祈った。現地での友好親善では、コムソモリスク、ハバロフスク州ピロビジャン、チタで病院や孤児院、身障者施設を訪問し、車椅子や団員が持ち寄った学用品と衣料品など贈呈、また施設敷地内で記念植樹を行った。

二十六日、ハバロフスクの日本人死亡者慰霊碑で、在ハバロフスク日本国総領事館総領事参列のもと、追悼式を挙げて、二十七日暮参り慰霊と友好親善の所期の目的を果たし、無事帰国した。

マリアナ諸島では、現地調査第三次派遣を八月二十日から三十一日の間、サイパン島において実施した。調査では、残存遺骨情報を基に現地調査員と調整を行い、島北部のマッピーや中部のキャピタルヒル、南部のチャランカノア等で遺骨情報地点の確認作業を行った。

遺児の参加者募集

慰霊友好親善事業

募集要項はつぎのとおり。
▼時期及び地域 実施概要参照
▼参加費 10万円
※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関はご自身の手に配になる。また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続き

教料等は個人負担となる。
▼参加資格 戦没者の遺児。平成三十年参加者を除き、複数回の応募が出来る。
▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目全てに記入を要するの

項目に不明な点(戦没者の部隊等)があれば各遺族会に相談し、条件を満たした上で提出願いたい。なお、申込多数の場合は選考となる。
また、巡拝地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期、または中止となる場合があるので、予めご了承願いたい。
なお、参加者の高齢化に考慮し、看護師が同行する。

実施概要

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 マリアナ諸島	令和元年 11月20日~11月26日	40人	令和元年 9月20日
2 ミャンマー	令和元年 12月13日~12月21日	60人	令和元年 10月11日
3 台湾・バシー海峡	令和2年 2月3日~2月9日	30人	令和元年 12月3日
4 ビスマルク諸島	令和2年 2月12日~2月19日	40人	令和元年 12月12日
5 マーシャル・ギルバート諸島	令和2年 3月7日~3月15日	40人	令和元年 11月7日
6 フィリピン(2次)	令和2年 3月13日~3月20日	120人	令和2年 1月14日
7 中国	令和2年 3月23日~3月31日	80人	令和2年 1月23日

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 西部ニューギニア	令和2年 1月17日~1月26日	36人	令和元年 11月18日
2 東部ニューギニア	令和2年 2月12日~2月19日	36人	令和元年 12月12日
3 ミャンマー	令和2年 2月25日~3月4日	36人	令和元年 12月23日

本会への 賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願ひしている本会への賛助金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に對し、お礼申し上げます。
なお、大変恐縮ではございますが都道府県名に於いては、送金方法により居在地が特定できない場合がありますので、省

略させていただきます。
賛助者名(敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)
鴨田篤和、堀内薫、皆川潔、高木啓子、金井佳治、井上恒、平淳子、大塚勝男、大塚秀夫、白水博子、藤原博文、瀬田洋子、雲石賢一、的場武浩、吉村恵子、船越喜玖代、

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

ナカジマヒロコ、タカハシモトイチ、シミズタケヒト(以上、八月一日から八月末日まで) 皆様からいただきました。誠にありがとうございました。

日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。

郵便振替 001300-26949299
みずほ銀行 九段支店 普通預金 09808930

※口座名は「一般財団法人日本遺族会」で「二」をインソクカイ

米国オレゴン州訪問

遺留品返還に伴う再委託契約

O B O N
ソサエティ

平成三十年度から始まった「戦没者遺留品の返還に伴う調査」事業は、本年度も厚生労働省から本会に事業が委託された。それに伴い本事業の協力団体であるOBONソサエティに業務の一部を再委託する委託契約を締結するため、八月二十七日から三十一日の期間で水落敏栄会長（他事務局一人）はアメリカのオレゴン州を訪問した。

八月二十七日にオレゴン州ポートランドに到着した一行は、在ポートランド領事事務所・寺岡敏総領事を表敬訪問し、OBONソサエティ共同代表表レックス、敬子ジーク

夫妻が同席して、本会とOBONソサエティとの協力体制等について説明した。その後、OBON

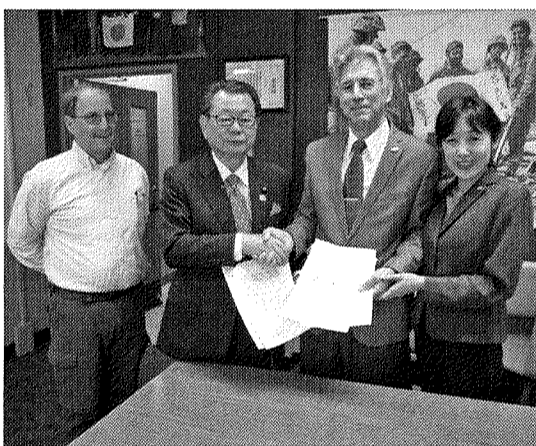
品すら還ってきていない戦没者遺族にとって、日章旗はまさに愛しい肉親を偲ぶ遺骨にも違わない大切なものであります。

高齡化する遺族へ速やかに遺留品等を返還するためには、OBONソサエティのご協力なくしては成り立ちません」と挨拶した。

二十八日、OBONソサエティの法的アドバイザーと再委託に関する契約書について協議し、お互いに契約内容に問題がないことを確認した。一行はアストリアに移動し、コロンビア川海洋博物館でOBONソサエティが監修した日章旗返

還に関する常設展示コーナーを視察し、博物館館長から、今後展示内容の拡充が予定されていると聞いた。

翌二十九日は、アストリア市内にOBONソサエティが借りているアーカイブセンター（記録保管所）で、OBONソサエティの理事が立ち会い、本年度の再委託契約書に水落会長、OBONソサエティ共同代表がそ



再委託契約が締結し、握手を交わす水落会長とジーク共同代表。右は敬子氏＝8月29日、オレゴン州アストリアで

それぞれ契約書に署名し、委託契約が締結した。また、水落会長は地元新聞社の取材を受け、OBONソサエティの活動に対する賛同者から寄付が集まるよう紙面で紹介することを記者に依頼した。

今回再委託契約が締結したことにより、OBONソサエティの活動がさらに充実し、戦没者遺族への遺留品返還がより加速することが期待される。

千葉県で日章旗返還

O B O N
ソサエティ

本会が平成三十年度より厚生労働省の委託を受け実施している「戦没者遺留品の返還に伴う調査」事業で、戦没者の遺品の返還運動を推進しているOBONソサエティから本会に照会があった。米ニューヨーク州のデイン・バトラーさんの父が保管していた日章旗について、持ち主が判明した。今回持ち主が判明した日章旗は、先の大戦で復員した木東津市の吉田一郎さんのもので、吉田さんはすでに他界してお



日章旗を持つ（左から）遺族の長谷川伊公子さんと高木宏子さん、デイン・バトラーさんと娘のクリステンさん。8月9日、木東津市役所で

八月九日に木東津市役所で行われた返還式では、デイン・バトラーさんと話した。

九段短歌

作品を
お寄せ
ください。

山郷で永く平和を伝えゆく「わだつみ文庫」に学童集う
コーヒーはなんで今宵は苦いんだ学徒兵の手記読みを
れは

半世紀再び現地に来て慰霊平和な戦跡にたずみ安堵す
御朱印を靖国神社で先ず受けて令和の旅の安寧祈る

令和とて称えし日々もうすらぎて今し気なる中東情勢

富土吉田市 蒼沼 勝由
甲州市 三森 一雄
南相馬市 柴山 征子
長浜市 雨森 貴子
小諸市 塩川 篤子
青森県 田中 恭子

佐世保市 富水八重子
加古川市 岡田 徹也
富山県 酒井 映子
上田市 滝澤まさ子

各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次のとおり。

七月は父の祥月命日で南風をせし母を偲びぬ
開戦の年に生まれし吾は父の顔知らぬまま喜寿を迎えし
泥道を漕ぎし荒野の逃避行ひたすら母の手強く握りき

八月十四日に靖国神社に参拝しました。翌日、武道館で行われる全国戦没者追悼式に参列の遺族を乗せた各県の大型バスが次々に到着し参拝されていました。

▼秋田県 7月3日、令和元年度秋田県遺族連合会戦没者遺児の会研修会（76人）

軍服の父の写し絵若かりしみつむる吾は七十路を過ぐ

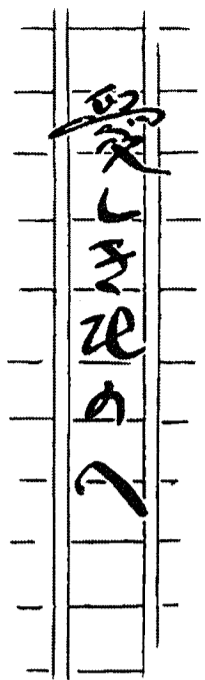
等々、激戦地の石の展示ですが、真つ黒な硫黄島の石を見て、地熱の高い島で壕を掘り勇ましく戦った彼の地の英霊を偲び、特に心を打たれました。（選者）

▼徳島県 7月13日、第58回語り部事業（140人）

妻への手紙

陸軍衛生曹長 島根 正一

昭和十九年九月五日
アイリピン・パラワン島にて戦病死
埼玉県北足立郡戸塚村出身 二十九歳



近く南の奇烈なる決戦場に向かはんとす。父と初枝の顔に接し得なかつたことは、至極遺憾の極みなり。

然れども案ずることなし、初枝は依然として現在の様に、只管仕事に励み留守を譲つてくれ。子無き父の淋しさを察する時、只、初枝一人をどんなにか頼りに思つてゐるかしらん。

男児の本懐これに過ぐるものなし。必ずや立派な働きをして家名を挙げん。俺に万一の事ありたる時の賜り金、その他扶助料等は一切、初枝を受取人として指定しある。もし大東亜の礎とし散華したる時は「島根家」を受けついでやつてくれ。

別に他には申し上ぐる事なく、留守、後の事を一切頼む。

何時までも元気でやるやう、遙か南冥の空より祈る。

昭和十九年六月二十七日

島根正一

（原文のまま）
【令和元年九月靖国神社頭掲示】
愛しきものへ

初枝殿

島根正一

（選者）

慰霊巡拝の旅・国内外のご旅行は、小田急トラベルにご相談下さい

海外への慰霊巡拝や戦跡めぐりをはじめ国内外のご旅行の際は団体から個人まで弊社でご相談承ります。

【慰霊巡拝過去の手配実績】

- ☆トラック・パラオ諸島
- ☆マリアナ諸島
- ☆東部ニューギニア
- ☆ソロモン諸島
- ☆ホルネオ 他

お問合せはこちらまで

株式会社小田急トラベル
外販営業部 首都圏営業センター
(観光庁長官登録旅行業365号)
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-28-12
TEL: 03-5302-3091
担当: 向井・日沖
(営業時間: 月～金 9:30～18:30 土日祝休み)